

## 平成 28 年度 指定管理者モニタリングレポート

<b>施設名称</b>	浜田市立石正美術館	
<b>指定管理者</b>	<b>名称</b>	公益財団法人浜田市教育文化振興事業団
	<b>代表者</b>	理事長 竹中 弘忠
	<b>住所</b>	浜田市黒川町 4175 番地
<b>モニタリングの実施方針・方法等</b>	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地検査、指定管理者へのヒアリング等により行いました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準や事業計画書に示された項目などを基準に具体的な業務の履行状況等についてチェックシートを用いて確認し、労働条件に関しては、労働条件チェックリストに沿って、事業場に整備されている書類を確認し「モニタリングの総合コメント」及び「今後の改善に向けた考え方」等を記入しました。</p>	
<b>担当部署 (問合せ先)</b>	<b>部署名</b>	教育委員会 文化振興課 芸術文化振興係
	<b>電話番号</b>	0855-25-9730
	<b>E-mail</b>	bunka@city.hamada.lg.jp

### ■ モニタリングの総合コメント

浜田市立石正美術館は、平成 13 年 4 月開館以来、旧三隅町出身の日本画家、故石本正先生の作品を収蔵・展示しています。

平成 22 年 4 月には、石本先生が選んだゆかりの作品等を展示する新館が完成し、本館と連動し芸術性の高い展覧会の開催が実施されています。

指定管理者は、平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の協定に基づき、施設管理、自主事業を実施されています。平成 13 年度の石正美術館の開館時から管理運営に携わり、業務にも精通していることもあり、条例・規則、協定書等に定める事項についても適切に実施されています。

事業実施を含めた施設管理運営について、入館者総数は 14,914 人で前年度比 98% (342 人減) とほぼ前年並みでした。これは、石本先生没後 1 年回顧展とその関連事業を開催し、多くの皆さまに来館いただいたことによるものです。

しかし、観覧料など自主事業収入は前年度比 88.6% となっています。本館ギャラリーその他の利用については、入館（利用）者数、前年度比 102.3% と微増しており、三隅自治区を中心とした地域の皆さまの展覧会・発表の場としての利用が定着し、地元で親しまれていることが要因と考えられます。併せて、広島方面への営業活動も集客につながっていると推察されます。

また、地元のユネスコ無形文化遺産である石州和紙を利用した「碧い石見の芸術祭」実行委員会の主催行事と連動し、展覧会の開催やワークショップの実施等、柔軟な企画運営をされていると評価しています。

これらのことから、指定管理者は条例・規則を遵守し、協定書等に定める業務を適正に実施しており、施設の管理運営に関し総合的に判断して「良好」と評価しました。

また、当課に対し、報告・連絡・相談については早急になされており、距離的に

離れていることを補完する努力をされていることを高く評価します。

## ■ 今後の業務改善に向けた考え方

経済不況、景気低迷や人口減少等により、観覧料等事業収入増を多く望むことはなかなか困難ですが、今後も経費面等を考慮しながら、集客力を高める魅力的な事業の展開を検討する必要があります。

また、開館のきっかけとなり、平成 27 年 9 月に死去されるまで、当施設の発展に多大な貢献をされた故石本正先生のお人柄やその大きな功績、影響力を後世に伝えていく企画展の実施検討が必要です。

集客に関する具体的な方策として、ギャラリーの利用が増加している状況から、再度、ギャラリー活用への呼びかけを実施するなど、その促進を図ることと併せて、広島方面へ向けての PR を地道に継続していくこと、先生が創作活動の拠点として活躍されていた京都市の美術館等との展覧会の相互協力の実施等について、双方で確認しました。

また、施設設備については、おおむね適切に運用、保守点検されています。多額な修繕工事を回避するために日常の細かな点検・補修が求められます。しかしながら自動ドアについて保守点検委託を実施していないとのことでした。来館者に支障が出ないように、担当者によるこまめな見回りの実施について依頼しました。

## ■ 個別評価

### I 基本的な考え方

#### ① 目的、公平性、効果等への所見

市民の美術・芸術文化に関する知識及び教養の向上を図り、地域文化の振興に寄与することを目的として、当施設は設置されています。展覧会では、希望者に対して絵画解説等を行い、きめ細やかにサービスを提供しています。また、自主事業では絵画教室等を開催し、地域文化の向上について一定の成果があったものと評価できます。

すぐに入館者の増加を得ることは困難と思われませんが、住民の要望に沿った事業の展開がなされ、これを地道に継続することが浜田市の文化振興に寄与することにつながると考えます。

### II 業務内容

#### ① 事業への具体的な取り組み方について

事業計画書に基づき、石本正の企画展、新作展及び没後 1 年回顧展等、展覧会事業と「石本正追想集」の発行、「石正美術館まつり」などの教育普及事業、絵画教室等の開催や施設運営に関する講習会への参加などが実施されています。

さらに事業内容等を検討するとともに、広報活動や営業活動など集客に向けての努力を続けるなど、具体的取り組みをすすめていく必要があると考えます。

#### ② 施設の運営体制や組織について

日本画家でもある非常勤館長のもと、学芸員 3 人（正規 1 人、嘱託 2 人）事務職員 4 人（正規 1 人（事務局と兼務）、嘱託 1 人、パート 2 人）合計 8 人の職員を配置し、平成 27 年度との比較では学芸員、事務職員各 1 人増となっています。また、ローテーション勤務を強化するなど、少ない人数と経費で最大の効果を生み出すよう努力しているものと認められました。

また、労働条件に関しては、概ね適正に処理されており、公益財団法人浜田市教育文化振興事業団の就業規則が適用され、事業所に設置されていることを確認しました。なお、36協定の締結及び労働基準監督署への届出が必要であること及び雇入れ時の健康診断の実施と再検査等の受診指導が必要であることについて指示しました。

### ③ 適切な事務や経理について

施設の利用関係事務は、例規に沿って適正に処理されていました。

また、経理関係事務について、指定管理者の組織内に専門担当者を設け、公認会計士の指導の下で適正に処理され、施設使用料や自主事業入場料等の収入についても、出納簿への記帳や銀行への入金等適正に処理されていました。

なお、指定管理者の組織内監査委員によって中間・決算監査もそれぞれ実施され指摘事項もなく、事務全般において適正に処理されていました。

### ④ 安全管理、情報管理、緊急時等の対応について

各種危機発生時の対応マニュアルが整備されていました。また、個人情報の管理、施設・設備の安全保守点検も適正に実施されていました。

災害対応時訓練・火災通報・非難訓練について、消防職員立会いのもと実施されていました。なお、平成28年度において危機事案、人身事故等は発生しておりません。

### ⑤ その他業務内容について

年末年始における1月2日からの臨時開館、三隅フェスティバルにあわせての観覧料減免等、利用者へのサービス向上に努められていました。

※「施設概要及び実績報告書」は別紙のとおり

〔別紙〕

## 施設概要及び実績報告書

### 1 施設概要

施設名	浜田市立石正美術館	
所在地	浜田市三隅町古市場 589 番地	
開設年月	平成 13 年 4 月	
設置条例	浜田市立石正美術館条例	
設置目的	市民の美術その他芸術文化に関する知識及び教養の向上を図り、地域文化の振興に寄与するため。	
施設の概要	敷地面積	5,577.01 m <sup>2</sup>
	延床面積	1,977.14 m <sup>2</sup>
	施設内容	本館 展示室、収蔵庫、ギャラリー、喫茶室、館長室、事務室 新館 プロムナード、展示室、収蔵庫及び書庫
	事業内容	① 石正美術館の施設、設備又は器具の利用の許可に関する事務 ② 石正美術館の維持管理に関する業務 ③ 前2号に掲げるもののほか、石正美術館の采井に関する事務のうち、市長のみの権限に属する事務を除く業務

### 2 運営実績

項目	H27 実績	H28 計画	H28 実績
開館日数	292 日	280 日	280 日
開館時間	9 : 00 ~ 17 : 00	9 : 00 ~ 17 : 00	9 : 00 ~ 17 : 00
※夜間利用の際は教育委員会の承認を受けて事業実施している	9 : 00 ~ 21 : 00	9 : 00 ~ 21 : 00	9 : 00 ~ 21 : 00

### 3 利用実績

項目	H27 実績	H28 計画	H28 実績
延べ利用者数	15,256 人	15,000 人	14,914 人
※施設利用料金	4,180,775 円	3,398,000 円	3,704,280 円

#### 4 収支実績

(単位：円)

##### 石正美術館管理運営事業 収入

項目	H27 実績	H28 計画	H28 実績
市指定管理委託料	5,519,000	5,353,000	5,353,000
市管理補助金	37,631,000	32,567,000	32,539,145
販売事業収入 ※3	589,910		
施設利用収入 ※1	2,505,950	256,000	255,960
寄付金収入	1,000,000	0	0
受取利息	2,946	1,000	256
雑入	726,410	632,000	634,367
特定資産受取利息	0	0	20
指定管理事業積立預金取崩金	227,728	0	0
<b>収入計 (A)</b>	<b>48,202,944</b>	<b>38,809,000</b>	<b>38,782,748</b>

##### 支出

役員報酬	1,200,000	1,200,000	1,200,000
給料手当	20,197,588	15,333,000	15,318,147
賃金	0	2,883,000	2,742,091
福利厚生費	3,421,950	2,828,000	2,848,917
報償費	60,000	0	0
旅費交通費	1,093,913	321,000	308,426
消耗品費	2,380,392	2,669,000	2,836,848
印刷製本費	3,191,946	760,000	763,542
資料購入費	28,702	0	0
光熱水費	6,185,472	6,314,000	6,328,270
燃料費	46,795	43,000	38,318
通信運搬費	1,844,721	406,000	363,086
保険料	59,630	72,000	71,320
広告料	513,600	0	0
手数料	96,806	82,000	76,622
使用料及び賃借料	1,438,532	556,000	598,547
租税公課	256,669	291,000	290,330
負担金	44,000	0	0
施設修繕費	1,251,612	641,000	554,903
委託費	4,266,317	4,712,000	4,798,097
販売品購入費 ※3	0		
雑費	91,884	36,000	8,990
特定積立預金支出	1,000,000	0	0
<b>支出計 (B)</b>	<b>48,670,529</b>	<b>39,147,000</b>	<b>39,146,454</b>
<b>収支差額 (A-B)</b>	<b>▲467,585</b>	<b>▲338,000</b>	<b>▲363,706</b>

※1 H28 より展覧会観覧料 2,143,920 円を施設利用収入から自主事業収入へ振り替えた。

※3 H28 より販売事業を別表として追加した。

石正美術館自主事業 ※2

収入

項目	H27実績	H28計画	H28実績
自主事業収入 ※1	1,674,825	3,142,000	3,448,320
市自主事業補助金		15,230,000	15,046,007
その他補助金		221,000	221,000
<b>収入計 (C)</b>	<b>1,674,825</b>	<b>18,593,000</b>	<b>18,715,327</b>

支出

報償費	617,000	717,000	716,370
旅費交通費	220,330	1,178,000	1,244,080
消耗品費	67,597	2,611,000	2,819,313
印刷製本費		5,886,000	5,541,019
資料購入費		55,000	6,487
通信運搬費	2,904	2,905,000	2,965,473
保険料	14,400	11,000	10,300
広告料		2,899,000	2,758,400
手数料	192,854	2,059,000	2,286,219
使用料及び賃借料	57,242	108,000	108,000
負担金		57,000	33,540
雑費	33,842	107,000	103,464
<b>支出計 (D)</b>	<b>1,206,169</b>	<b>18,593,000</b>	<b>18,592,665</b>
<b>収支差額 (C-D)</b>	<b>468,656</b>	<b>0</b>	<b>122,662</b>

※2 H28 より自主事業を絵画教室のみから展覧会等自主事業全般へ見直した。

石正美術館販売事業 ※3

収入

項目	H27実績	H28計画	H28実績
販売事業収入		544,000	585,705
<b>収入計 (E)</b>		<b>544,000</b>	<b>585,705</b>

支出

消耗品費		20,000	18,300
販売品購入費		186,000	185,130
<b>支出計 (F)</b>		<b>206,000</b>	<b>203,430</b>
<b>収支差額 (E-F)</b>		<b>338,000</b>	<b>382,275</b>

<b>収入額合計 (A+C+E)</b>	<b>49,877,769</b>	<b>57,946,000</b>	<b>58,083,780</b>
<b>支出額合計 (B+D+F)</b>	<b>49,876,698</b>	<b>57,946,000</b>	<b>57,942,549</b>
<b>収支差額</b>	<b>1,071</b>	<b>0</b>	<b>141,231</b>

※3 H28 より販売事業を追加した。